

「県まち・ひと・しごと創生総合戦略」のKPIの達成状況等を踏まえた総合戦略の一部改訂（案）について

資料6

1 KPIの上方修正を図るもの（KPIの達成状況を踏まえた上方修正）

基本目標	施策	見直しを行うKPI
1 「新しい豊かさ」へのチャレンジ	(ア)科学技術を活用した新産業育成, 中小企業の成長支援 ②ものづくり産業の医工連携の促進	産学官連携による新製品等開発件数 ・現行：(2015～2019 累計)50 件 → 見直し後：(2015～2019 累計)55 件 (2017 実績値：35 件 [期待値：30 件]) ※2017 年の実績値が期待値を上回ったことから、2017 年の実績値を基準に毎年 10 件ずつの増加を目指すものとして、改めて目標値を設定。なお、新たな総合計画においても同様に設定。
	(オ)多様な働き方の実現 ④移住・二地域居住の推進	移住受入体制の構築に取り組む市町村数 ・現行：(2019)33 市町村 → 見直し後：(2019)36 市町村 (2017 実績値：35 市町村 [期待値：29 市町村]) ※2017 年の実績値が期待値を上回ったことから、県内全市町村の 8 割超が取り組むことを目指すものとして、改めて目標値を設定。
2 「新しい安心安全」へのチャレンジ	(エ)安心して暮らせる社会づくり ②地域コミュニティ運動の推進と支援	NPO法人認証件数 ・現行：(2019)885 法人 → 見直し後：(2019)910 法人 ※概ね 10 年後に全国平均の水準以上となることを目指すものとして、改めて目標値を設定。なお、新たな総合計画においても同様に設定。
3 「新しい人財育成」へのチャレンジ	(ア)次世代を担う「人財」育成 ①「知・徳・体」バランスのとれた教育の推進	全国学力・学習状況調査における児童生徒の質問項目のうち国語及び算数・数学の授業の理解度 ・現行：(2019)小学校 85% → 見直し後：(2019)小学校 85% 中学校 75% 中学校 77% ※国語はすべての教科の基礎・基本を担う教科と捉え、概ね 10 年後に中学生の国語の理解度が全国一位の水準となることを目指すものとして、改めて目標値を設定（数学の目標値は維持し、国語と数学の平均値である本指標の目標値を上方修正）。なお、新たな総合計画においても、中学生の国語の理解度について目標値を同様に設定。

1 KPIの上方修正を図るもの（KPIの達成状況を踏まえた上方修正）（続き）

基本目標	施策	見直しを行うKPI
3 「新しい人財育成」への チャレンジ	(イ)教育環境の充実 ②魅力ある学校づくり	<p>主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善に取り組んだ割合（公立小学校）</p> <p>・現行：(2019)79.2% → 見直し後：(2019)79.6%</p> <p>※概ね10年後に全国一位の水準となることを目指すものとして、改めて目標値を設定。なお、新たな総合計画においても同様に設定。</p>
	(ウ)日本一，子どもを産み育てやすい県 ①安心して結婚・出産できる社会づくり	<p>妊娠・出産について満足している者の割合</p> <p>・現行：(2018)70% → 見直し後：(2019)83% (2017実績値：82.1% [期待値：69.0%])</p> <p>※2017年の実績値が期待値を上回ったことから、「健やか親子21（第2次）」の当該指標の最終評価目標（2023年度）を目指すものとして、改めて目標値を設定。（併せて、目標年度も変更）なお、新たな総合計画においても同様に設定。</p>
	(エ)学び・文化・スポーツに親しむ環境づくり ①生涯学習の環境づくり	<p>生涯学習ボランティア派遣人数</p> <p>・現行：(2019)3,728人 → 見直し後：(2019)4,521人 (2017実績値：3,777人 [2018期待値：3,580人])</p> <p>※2017年の実績値が2018年の期待値を上回ったことから、概ね10年後に2017年の実績値の約2倍となる7,500人を目指すものとして、改めて目標値を設定。なお、新たな総合計画においても同様に設定。</p>
	(エ)学び・文化・スポーツに親しむ環境づくり ③スポーツの振興	<p>成人の週1回以上のスポーツ実施率</p> <p>・現行：(2019)53.2% → 見直し後：(2019)53.6%</p> <p>※スポーツ庁が2021年までに65%程度とすることを目標としたことから、本県の現状を踏まえ、概ね10年後に65%を目指すものとして、改めて目標値を設定。なお、新たな総合計画においても同様に設定。</p>

1 KPIの上方修正を図るもの（KPIの達成状況を踏まえた上方修正）（続き2）

基本目標	施策	見直しを行うKPI
4 「新しい夢・希望」への チャレンジ	(ウ)ビジット茨城 ～新観光創生～ ①国際観光の推進	海外からの観光ツアー催行数 ・現行：(2019)2,500 ツアー → 見直し後：(2019)3,150 ツアー (2017 実績値：2,721 ツアー [期待値：1,730 ツアー]) ※2017年の実績値が期待値を上回ったことから、概ね10年後に3,790 ツアーを目指すものとして、改めて目標値を設定。なお、新たな総合計画においても同様に設定。
		旅客者数 ・現行：(2019)70 万人 → 見直し後：(2019)85 万人 (2017 実績値：68 万人 [期待値：63 万人]) ※2017年の実績値が期待値を上回ったことから、概ね10年後に2017年の実績値の約1.5倍となる100万人以上を目指すものとして、改めて目標値を設定。なお、新たな総合計画においても同様に設定。
		ターミナルビル来場者数 ・現行：(2019)158 万人 → 見直し後：(2019)163 万人 ※KPI「旅客者数」の上方修正に合わせ、本指標についても上方修正。（「ターミナルビル来場者数」の内数として「旅客者数」を計上）

2 情勢を踏まえKPIの下方修正を図るもの

基本目標	施策	見直しを行うKPI
1 「新しい豊かさ」への チャレンジ	(エ)エネルギー対策の推進 ①持続可能なエネルギー社会の実現	水素ステーションの整備 ・現行：(2019)4 箇所 → 見直し後：(2019)3 箇所 ※世界的なEVシフトが進んでいることに加え、今年度に入って国内自動車メーカーの燃料電池自動車(FCV)の商用化等にブレーキがかかっており、今後、FCVの普及が当初の想定通り進まない可能性が高い。このため、FCVの普及に合わせて必要となる水素ステーションの整備箇所数の目標値についても、下方修正することとする。なお、新たな総合計画においても同様に設定。